

2024夏が好き！本が好き！！



～先生方が推すこの夏の1冊～

図書館だより特別版② 2024年7月23日号

秋草学園高等学校 図書館



楠見先生のおすすめは…

913.6-ミ 『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈 || 著 新潮社

図書館でこの本を見かけた瞬間、これは読むしかない！と速攻で借りた1冊です。なぜなら、表紙の少女が西武ライオンズのユニフォームを着ていたから。

主人公はとにかく行動力に溢れた女子高生、成瀬。毎日テレビ中継に映り込んだり、漫才コンビを結成してM-1グランプリに出場したりと、どこまでも我が道を進む成瀬を好きにならずにられません。残念ながら西武ファンではない成瀬が、なぜ西武のユニフォームを着ているのか、ぜひ読んで確かめてみてください。2024年本屋大賞ですから、誰が読んでも楽しめるはず。ただし、西武ファンのあなたには特におすすめしたい1冊です。作中に登場する、あの選手の名前にニヤニヤしてしまうこと間違いなし。

栗山先生のおすすめは…

307-ツ 『図解でわかる時事重要テーマ100 2024-2025』

日経HR編集部 || 編 日経HR

大学受験を総合型選抜や学校推薦型選抜で受験しようとしている皆さん！必見です！！時事ニュースは、受験において筆記試験で出題されるだけでなく、小論文やグループディスカッションのテーマになったり、面接時に意見を求められたりする場面が増えています。受験対策だけでなく就職活動にも役立ちます。3年生はもちろん、1年生や2年生も教養を高めるために、ぜひ手に取ってほしい1冊です。

黒坂先生のおすすめは…

① 913.6-ア 『正欲』 朝井リョウ || 著 新潮社

多様性とは何か、各自が生きやすい社会とは何か、考えるきっかけになります。自分の視野がいかに狭いか、自分の思考が偏っていないか気づかされます。自分は正しいと思っている言動が、実は相手を傷つけてしまっているかもしれません。

誰を中心に読みすすめるかによって、読み方や見方が変わってきます。主なキャストは大也（映画では佐藤寛太）、八重子（映画では東野絢香）、啓喜（映画では稲垣吾郎）、夏月（映画では新垣結衣）です。

② 913.6-カ 『愛の夢とか』 川上未映子 || 著 講談社

短編7編を収めています。

私は「お花畑自身」をお勧めします。自宅をお気に入りにつくりあげた「わたし」が、その家を手放すことになっても愛着が強いあまりに意外な行動をとります。

ホラーのような内容なので、暑い日に読むといいと思います。

川上さんの作品に共通して、心情の描写が繊細に書かれています。



重田先生のおすすめは…

913.6-ダ 『駈込み訴え』 太宰治 || 著 筑摩書房

この小説は、「申し上げます。申し上げます。旦那さま。」という書き出しで始まる。とある商人の男が、自分の師である「あの人」がどれだけひどい男なのか、自分が「あの人」に何をしてやったのか、読者に語るような書き口でつづっている。しかし、商人の男は「あの人」が嫌いなのではない。むしろ「あの人」への愛ゆえに憎しみで狂ってしまっている。

こんな経験はないだろうか。憧れる人の欠点を見つけては心の中で見下したり、一方でその人への憧れや慕う気持ちがあったり、その人と仲良くしている第三者を見ると嫉妬してしまったり。こうした人の心の複雑な動きを描いた作品である。

こちらに語りかけるような書き口も相まって、「読んでいるお前にもそういった心はないか」と、読み手の心理を見抜いてくるように感じられる。そのような気持ちがわかる人にはもちろん、わからない人もぜひ一読して、人の複雑な感情を垣間見てほしい。そして「あの人」とは誰か、訴える「商人の男」は誰なのかにも着目してもらいたい。

鈴木信滉先生のおすすめは…

913.6-ム 『コンビニ人間』 村田沙耶香 || 著 文藝春秋

第155回芥川賞受賞作。

校則に縛られ、窮屈な日を過ごしている（と思い込んでいる）そのあなた。卒業したら自由が待っていると思っているでしょうが、果たしてどうでしょう。自分を押しさえ込んでいると思われたマニュアルたるものを欲する自分の存在に気づくはずです。

社会が嫌になったら、いつでも秋草に戻っておいで。



関口和孝先生のおすすめは…

① B913.6-イ 『北斗 ある殺人者の回心』 石田衣良 || 著 集英社

「一度知ってしまえば、知らなかった頃に戻ることはできない。」果たしてそれが幸なのか不幸なのか、そんなことを考えてしまいます。結局のところ、人は自らが信じたいことを信じたい形として信じるしかないのですが、その事実が人の数だけ存在していることを忘れずにいたいものです。

② B913.6-カ 『いびつな夜に』 加藤千恵 || 著 幻冬舎

ありふれた日常の中にある「私だけのありふれた感情」が1つの小さな物語を紡いでいくのだと実感させられる本です。ありふれた特別な毎日を大切にしていきたいと思う今日この頃です。

染谷凌平先生のおすすめは…

780-バ 『心を強くする「世界一のメンタル」50のルール』 サーシャ・バイン || 著
飛鳥新社

大坂なおみさんのコーチを務めたサーシャ・バインのメンタル構築に関する本です。意識すれば変わること、行動で変わることがたくさんあります。それはスポーツでも、勉強でも、何にでも通じること。ぜひ一読ください。



高橋貴与人先生のおすすめは…

834-] 『これを英語で言えるかな？ こあら式 意外と知らない英単語図鑑』

こあら学校 || 著 マガジンハウス

身近なのに意外と知らない英単語が盛りだくさんの図鑑です。かわいいイラストで見るだけでパッと英単語が頭に入ってきます！

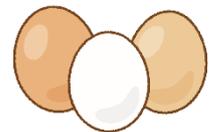
高橋優美花先生のおすすめは…

914.6-] 『気づいたこと、気づかないままのこと』

古賀及子 || 著 シカク出版

本の中でもエッセイが好きだ。なぜなら、他人の脳内世界やら人生の何でもない部分やらを見るのが面白くてたまらないからだ。さて、「絵のないはがき」を書いた放送作家の向田邦子、「船を編む」を筆頭に映像化された作品は数知れずの三浦しをん、彼女らに続く新たなエッセイスト・古賀女史の初エッセイ集がこの度出版されました。

「間違い電話がよくかかる」「卵を割るのが下手になった」、1日が終わり、家について家族に話すような何てことない話題(と見せかけてへんてこな話もある)が淡々と描かれています。これを読んだら最後、「私も書いてみようかな、今日のこと」となること間違いなし。



田中先生のおすすめは…

450-ハ° 『手の中の地球』

トマ・パスケ || 著 ホビージャパン

国際宇宙ステーション (ISS) に 200 日滞在した宇宙飛行士が実際に見た景色を 1 冊の本にしてあります。

世界的に有名な言葉では人類初の宇宙飛行士ユーリ・ガガーリンの「空は非常に暗かった。一方、地球は青みがかった。地上はよく見えた」というものがあり、日本では「地球は青かった」という言葉が一般的に知られていますが、この 1 冊は青い地球だけでなく色々な地球が見られます。

1 冊で世界旅行 (宇宙旅行) が出来る本です。読むというよりも見る本だと思います。



塚田先生のおすすめは…

① 913.6-ミ 『成瀬は信じた道をいく』 宮島未奈 || 著 新潮社

2024年「本屋大賞」受賞作となった『成瀬は天下を取りにいく』の続編です。“成瀬あかり”の生き方や行動力にワクワク、ドキドキしながらアツという間に読んでしまいました。読書の楽しさを感じるうえでとてもおもしろい本だと思います。

② B913.6-イ 『天平の躰』 井上靖 || 著 新潮文庫

以前から読みたいと思っていた本で、遣唐使で大陸に渡った留学僧の普照と栄叡が艱難辛苦の末に鑑真を日本に招き、日本仏教の発展の為、彼ら若い留学僧たちが活躍する様を描いたものです。

日本史を学ぶうえでも役立つ本だと思います。



③ 310-イ 『10代からの政治塾 子どもも大人も学べる「日本の未来」の作り方』 泉房穂 || 著 KADOKAWA

元衆議院議員で前明石市長の泉房穂さんの著書です。泉さんはテレビにもコメンテーターとしてよく出演されているので、御存知の方もいるかもしれません。皆さんにとって政治は「汚いもの」「縁遠いもの」と思うかもしれませんが、私達の生活にもものすごく関係が深いものです。公共を学習している2年生の皆さんや近々に有権者となる3年生の皆さんにぜひ読んでほしいと思います。

読書は退屈なものと感じてしまう生徒の皆さんもいらっしゃるかもしれませんが、読書は心を豊かにするだけでなく、様々な学習の基礎となり、知識の宝庫です。今後も積極的に読書する習慣を身につけましょう。

ジョイ・テリング先生のおすすめは…

933-K 『The Isles of the Gods』 Amie Kaufman || 著 Knopf Books

This epic fantasy novel takes readers on a thrilling journey to a world filled with gods, magic, and high-takes adventure. Selly, a sailor with dreams of becoming a captain, and Leander, a prince with a mission, find their fates intertwined as they navigate treacherous seas and confront divine creatures.

奈須先生のおすすめは…

913.6-イ 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』 岩崎夏海 || 著 ダイヤモンド社

「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」…敏腕マネージャーと野球部の仲間たちが甲子園を目指して奮闘する青春小説。高校野球の女子マネージャーのみなみちゃんは、マネージャーの仕事のために、ドラッカーの『マネジメント』を間違えて買ってしまいます。はじめは難しく後悔するのですが、しだいに野球部のマネジメントにも生かせることに気がきます。これまでのドラッカー読者だけでなく、高校生や大学生、そして若手ビジネスパーソンなど多くの人に読んでほしい一冊。

原口先生のおすすめは…

S892-ラ 『世界はラテン語でできている』 ラテン語さん || 著 SBクリエイティブ

英語のお母さんについて楽しく学ぶことができます。1つ1つの章も短くてすきま時間でも読めます。

平田先生のおすすめは…

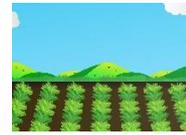
159-カ 『小さいことにくよくよするな!』

リチャード・カールソン || 著 サンマーク出版

「しょせん、すべては小さなこと」。これはこの本の副題にもなっています。

筆者が「心の持ちよう」について説いた一冊で、日頃から些細なことを気にしてしまいがちな人におすすめです。考え方の話もあれば実践できる Tips のような話もあります。

私はこの本に書かれていること、前々から実践できていました！読み返すと勇気をもらえます。



福島先生のおすすめは…

D778.7-イ 『医師 中村哲の仕事・働くということ』

日本電波ニュース社 || 制作

アフガニスタンとパキスタンで、病や戦乱、そして干ばつに苦しむ人々のために生涯をかけて、現地の人々と共に、現地の人々のために働いた中村哲医師の軌跡を通し、“働く”とは何かを考えるきっかけとなればと思います。

35年にわたり支援活動を続けた中村哲医師は、自身の活動について、こう記しています。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが、唯一の譲れぬ一線は、『現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと』である。」「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人の為に働いて支えあい、人のために死ぬ。そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」

本多先生のおすすめは…

913.6-イ 『親鸞』 五木寛之 || 著 講談社

大学生であった40年も前に、作家丹羽文雄の親鸞を読んでいた。ラジオの番組で作家五木寛之が親鸞を連載していると知った。機会があったら、読んでみたいと思っていたら、学校の図書館にあった、早速借りて読んだ。親鸞の生き様が、ありありと想像できる表現で、おもしろかった。時代背景もわかりやすく、何よりも読みやすい文体です。是非、一度手にとってみてください。

升田先生のおすすめは…

E-ソ 『おおきな木』 シェル・シルヴァスタイン || 著 篠崎書林

与えることは相手を幸せにするのか。

自分は幸せになるのか。

読んだ後の皆さんの感想がぜひ聞きたいです。

丸一先生のおすすめは…

914.6-リ 『置かれた場所で咲きなさい』 渡辺和子 || 著 幻冬舎

こんな風に強くて美しい考えの女性になりたいなあ。私にとって心の支えとなる本です。

ぜひ読んでみて下さい！



水谷先生のおすすめは…

B131-7 『自省録』 マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス 著 岩波書店

「朝、起きなければいけないとわかっているのに、どうしても布団の魔力に抗えない。自分はなんてダメな人間なんだろう。自分は布団にくるまるために生まれてきたんじゃない、やらなければいけない義務を果たすために生まれたのに」。

誰の言葉でしょう。テスト直前のみなさんの言葉ではありません。今から1900年前、北アフリカから中東までを支配していた古代ローマ帝国の皇帝、「マルクス＝アウレリウス」の言葉です。この「自省録」は読んで字のごとく、彼が自分に宛てて書いた日々の反省文です。イヤミな発言、睡魔との闘い、自身の怠惰、他人に振り回されるメンタル、無意識に取っていたマウント、周囲への感謝の欠如。古代ローマ最高の皇帝と呼ばれた彼ですら、狂おしいほどの自己否定にさいなまれていました。

みなさんが孤独な夜を過ごし、自己嫌悪に押しつぶされそうなとき、この本はきっとみなさんに寄り添い、現代を生きる覚悟と明日への活力を分けてくれることでしょう。

守谷先生のおすすめは…

B913.6-ナ-1 『神楽坂スパイス・ボックス』 長月天音 著 角川春樹事務所

暑い夏にスパイスたっぷりの料理って最高じゃないですか？

刺激的なだけじゃない、スパイスのもついろんな力を教えてくれる、優しい物語です。

神楽坂に行ったら本当にあっという間にいいのになあ、このお店…。



薬師先生のおすすめは…

B367-ホ 『女の子は本当にピンクが好きなのか』 堀越英美 著 河出書房新社

「ピンク色」だけで本が書けてしまう。

こんなにも難しく、奥深い色だとは。

ピンクが嫌いでも女の子だし、ピンクが好きでも男の子である。それが当たり前の時代に、この一冊。

山崎先生のおすすめは…

594-7 『きせかえできるぬいぐるみ てづくり押しぬいBOOK』

平栗あずさ 著 グラフィック社

最近何処の手芸屋さんに行っても、何やら見慣れないもののコーナーが存在しています。調べたところ推しのぬいぐるみを手作りする事が流行っているとの事。どんなものか…。とりあえず本を購入してみたところ初心者でも簡単に作れるよう、写真付きで丁寧に説明されていて、自分だけの推しのぬいぐるみが作れます。

私には推しはいませんが、可愛いオリジナルの推しを作る事で裁縫に興味を持ってくれる人が少しでも増えたらうれしいです。



結城先生のおすすめは…

914.6-オ 『情緒と日本人』 岡潔 || 著 PHP 研究所

数学者の岡潔（1901-1978年）は、世界的難問だった多変数関数論の骨格を完成させ、海外では「オカキヨシ」とは一人の名でなく研究グループ名だと勘違いされたというほどの天才として知られています。本書は、随筆家でもあった岡の著書から、いわゆる「名言」を抜粋したもので、岡の思想の一端を垣間見ることが出来ます。意外な感じがしますが、岡は「計算や論理は数学の本体ではない」と述べ、人の心＝情緒の重要性を説いています。その真意やいかに…。

湯本先生のおすすめは…

① 913.6-ヌ 『風に恋う』 額賀濤 || 著 文藝春秋

吹奏楽をやっている、やっていた皆さんへのおすすめ本です。

埼玉県にある高校という設定なので、皆さんが知っている学校の名前も出てくるかもしれません。真剣に向き合うことから逃げたくない人、逃げたくないという気持ちになりたい人、おすすめです。

② 913.6-イ 『俺たちの箱根駅伝（上・下）』 池井戸潤 || 著 文藝春秋

「学連選抜」から「学生連合」へとチームの名称が変更され、今では順位も付かずチーム、個人ともに「参考記録」となり、正式な記録としては残らない。

では、彼らは何のために走るのか？

学生連合チームとして走る側、中継する側、さまざまな視点から見ることで、次の箱根駅伝をもっともっと楽しめる一冊(二冊)です。



吉村司書のおすすめは…

B913.6-ク 『光る君と謎解きを 源氏物語転生譚』 日部星花 || 著 宝島社

主人公の紫乃はお濠に転落し、気がついたら『源氏物語』の世界の若紫になっていた。『源氏物語』のストーリー通り、葵上が亡くなってしまいが、本当に六条御息所の生霊のせいなのか？紫乃は真相を究明する。

著者は今年大学を卒業した若手作家さん、流行りの転生モノ、ということで、『源氏物語』のあらすじをなんとなく知っていれば、気軽に読めると思います。平安時代の用語もでてくるので、勉強になるかも…！？



鈴木司書のおすすめは…

B953-ハ 『八十日間世界一周』 ジュール・ベルヌ || 著 東京創元社

今夏の気分は、きっとフランス。なんとってパリオリンピックの年ですもの、大勢の人がパリに注目し盛り上がることでしょ。フランスの作家といえば、ジュール・ベルヌ。“人間が想像できることは、人間が必ず実現できる”という名言を残したSF小説家です。映画『バック・トゥー・ザ・フューチャー』で、ドクの婚約者が愛読していたのも、この作家の本です。1872年（日本でいえば大政奉還の5年後）に書かれたこの物語に触発され、当時世界一周を72日間で成功した人もいたのだとか。技術が進歩し、世界が近づいたことに改めて気づき驚いたことでしょう。さあ、あなたはこれから何を想像しますか、それが未来への原動力になります。

